

日本プラスチック工業連盟様

農林水産省

『食品分野におけるプラスチック容器包装資源循環タスクフォース』資料

エフピコ方式のリサイクル とサステナビリティ戦略

～エフピコ方式の資源循環型リサイクルから見るサーキュラーエコノミー～

株式会社エフピコ サステナビリティ推進室

2026年1月19日

■事業内容

●社名：株式会社エフピコ

(旧社名：福山パール紙工株式会社)

●事業内容： プラスチック製簡易食品容器製造・販売

●本社：広島県福山市 ●設立：1962年（昭和37年）7月

●2025年3月期 売上：2,356億円（連結）
経常利益：184億円（連結）

●従業員数：988名（グループ総数5,250人）

●生産工場20拠点、リサイクル工場3拠点
減容・選別センター 10拠点
配送センター 9拠点
ピッキングセンター 10拠点



・信頼の証
エフピコマーク

・環境にやさしい
エコマーク登録商品



■全国に製造・物流・販売 拠点ががあります。

エフピコグループの製造・物流・販売・リサイクルネットワーク

★本社

- ・福山本社(広島県福山市)
- ・東京本社(東京都新宿区)

★支店

- ・大阪支店(大阪府大阪市)

●営業所

- ・札幌営業所(北海道札幌市)
- ・仙台営業所(宮城県仙台市)
- ・静岡営業所(静岡県静岡市)
- ・新潟営業所(新潟県新潟市)
- ・北陸営業所(石川県金沢市)
- ・名古屋営業所(愛知県名古屋市)
- ・広島営業所(広島県広島市)
- ・四国営業所(香川県高松市)
- ・福岡営業所(福岡県福岡市)

●生産工場

- ・北海道工場(北海道石狩市)
- ・山形工場(山形県寒河江市)
- ・関東工場(茨城県八千代町)
- ・関東八千代工場(茨城県八千代町)
- ・関東エコバット工場(茨城県八千代町)
- ・関東下館工場(茨城県筑西市)
- ・筑西工場(茨城県筑西市)
- ・関東つくば工場(茨城県下妻市)
- ・富山工場(富山県射水市)
- ・中部工場(岐阜県輪之内町)
- ・中部エコバット工場(岐阜県輪之内町)
- ・近畿亀岡工場(京都府亀岡市)
- ・笠岡工場(岡山県笠岡市)
- ・関西工場(兵庫県小野市)
- ・福山工場(広島県福山市)
- ・神辺工場(広島県福山市)
- ・四国工場(高知県南国市)
- ・九州工場(佐賀県吉野ヶ里町)
- ・南郷工場(宮崎県日南市)
- ・鹿児島工場(鹿児島県鹿児島市)

●リサイクル工場 / 選別・減容センター

- ・関東リサイクル工場(茨城県八千代町)
- ・関東PETリサイクル工場(茨城県八千代町)
- ・中部リサイクル工場(岐阜県輪之内町)
- ・中部PETリサイクル工場(岐阜県輪之内町)
- ・福山リサイクル工場(広島県福山市)
- ・北海道減容センター(北海道石狩市)
- ・山形選別センター(山形県寒河江市)
- ・茨城選別センター(茨城県八千代町)
- ・東海選別センター(静岡県長泉町)
- ・松本選別センター(長野県松本市)
- ・金沢選別センター(石川県金沢市)
- ・岐阜選別センター(岐阜県輪之内町)
- ・西宮選別センター(兵庫県西宮市)
- ・福山選別センター(広島県福山市)
- ・佐賀選別センター(佐賀県神埼市)
- ・西日本ペットボトルリサイクル(福岡県北九州市)

●配送センター / ビッキングセンター

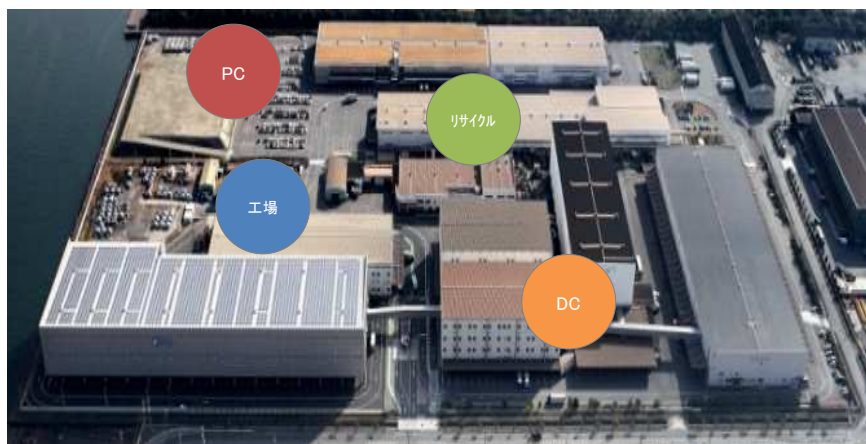
- ・北海道配送センター(北海道石狩市)
- ・東北配送センター(山形県寒河江市)
- ・関東ハブセンター(茨城県八千代町)
- ・八王子配送センター(東京都八王子市)
- ・東海配送センター(静岡県長泉町)
- ・中部ハブセンター(岐阜県輪之内町)
- ・関西ハブセンター(兵庫県小野市)
- ・福山ハブセンター(広島県福山市)
- ・九州配送センター(佐賀県吉野ヶ里町)
- ・北海道ビッキングセンター(北海道石狩市)
- ・東北ビッキングセンター(宮城県大衡村)
- ・関東ビッキングセンター(茨城県八千代町)
- ・茨城ビッキングセンター(茨城県八千代町)
- ・八王子ビッキングセンター(東京都八王子市)
- ・新潟ビッキングセンター(新潟県長岡市)
- ・中部ビッキングセンター(岐阜県輪之内町)
- ・関西ビッキングセンター(兵庫県神戸市)
- ・福山ビッキングセンター(広島県福山市)
- ・九州ビッキングセンター(佐賀県吉野ヶ里町)

・プラスチック製容器の特徴

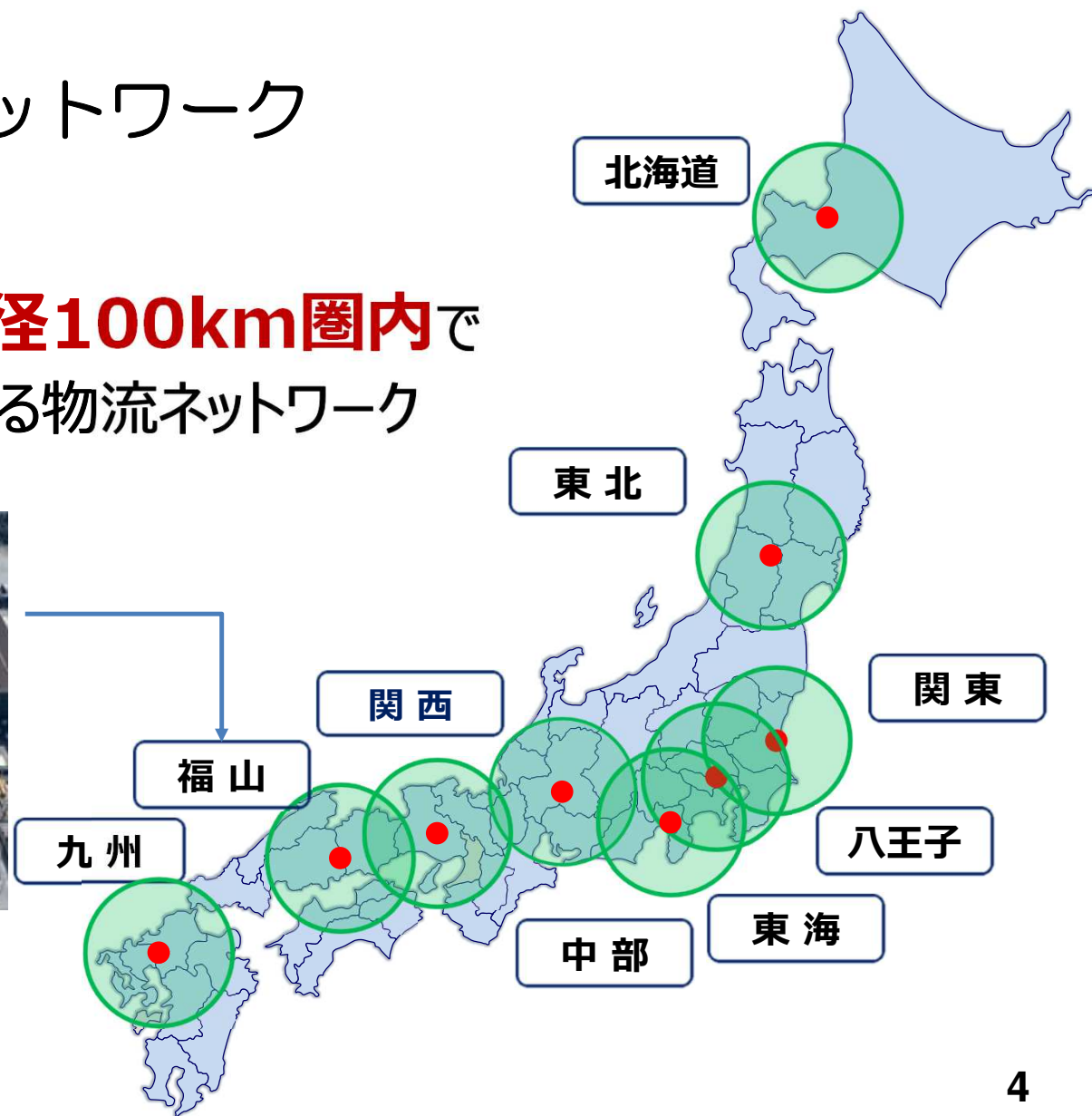
軽い・嵩張る・安価

■全国をカバーする物流ネットワーク

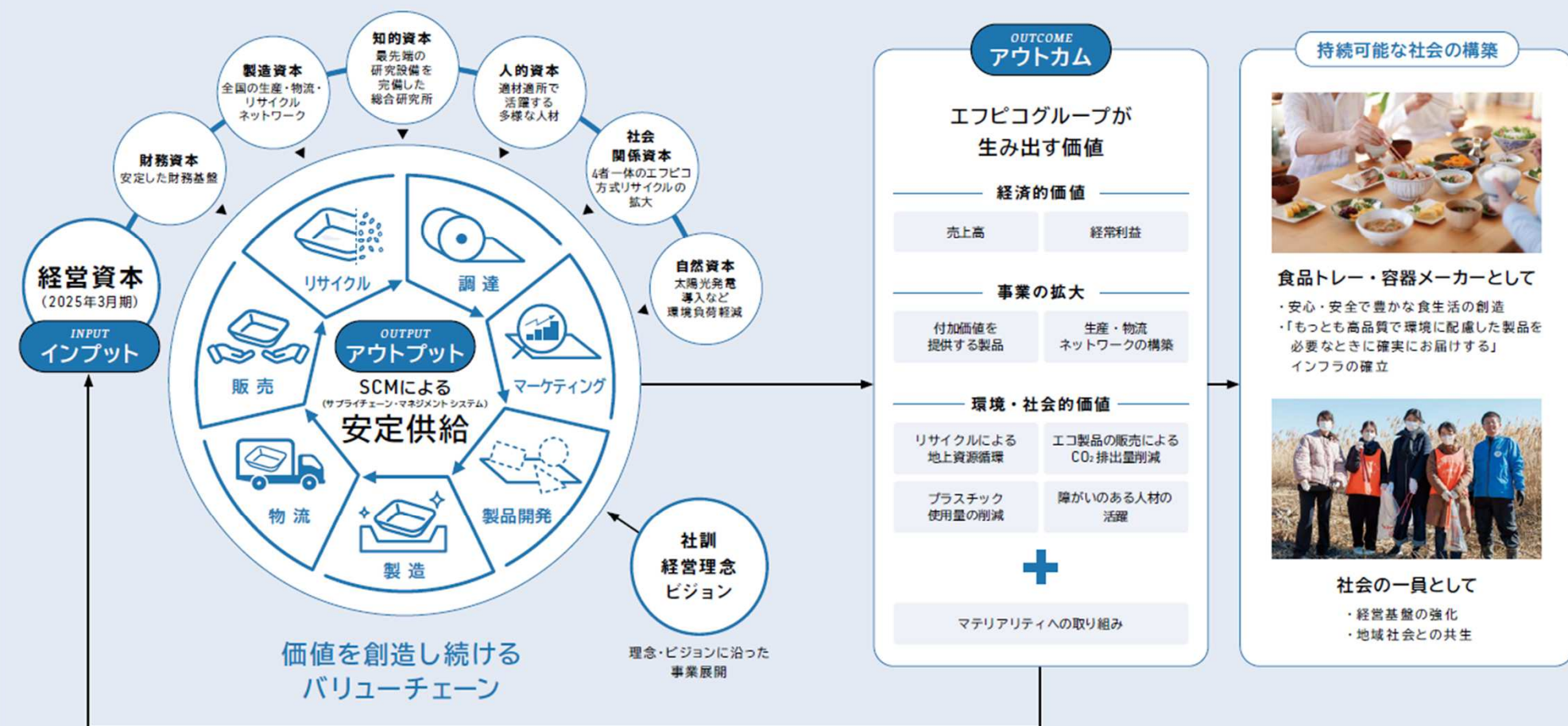
全国9カ所の物流拠点から**半径100km圏内**で
全人口の85%をカバーする物流ネットワーク



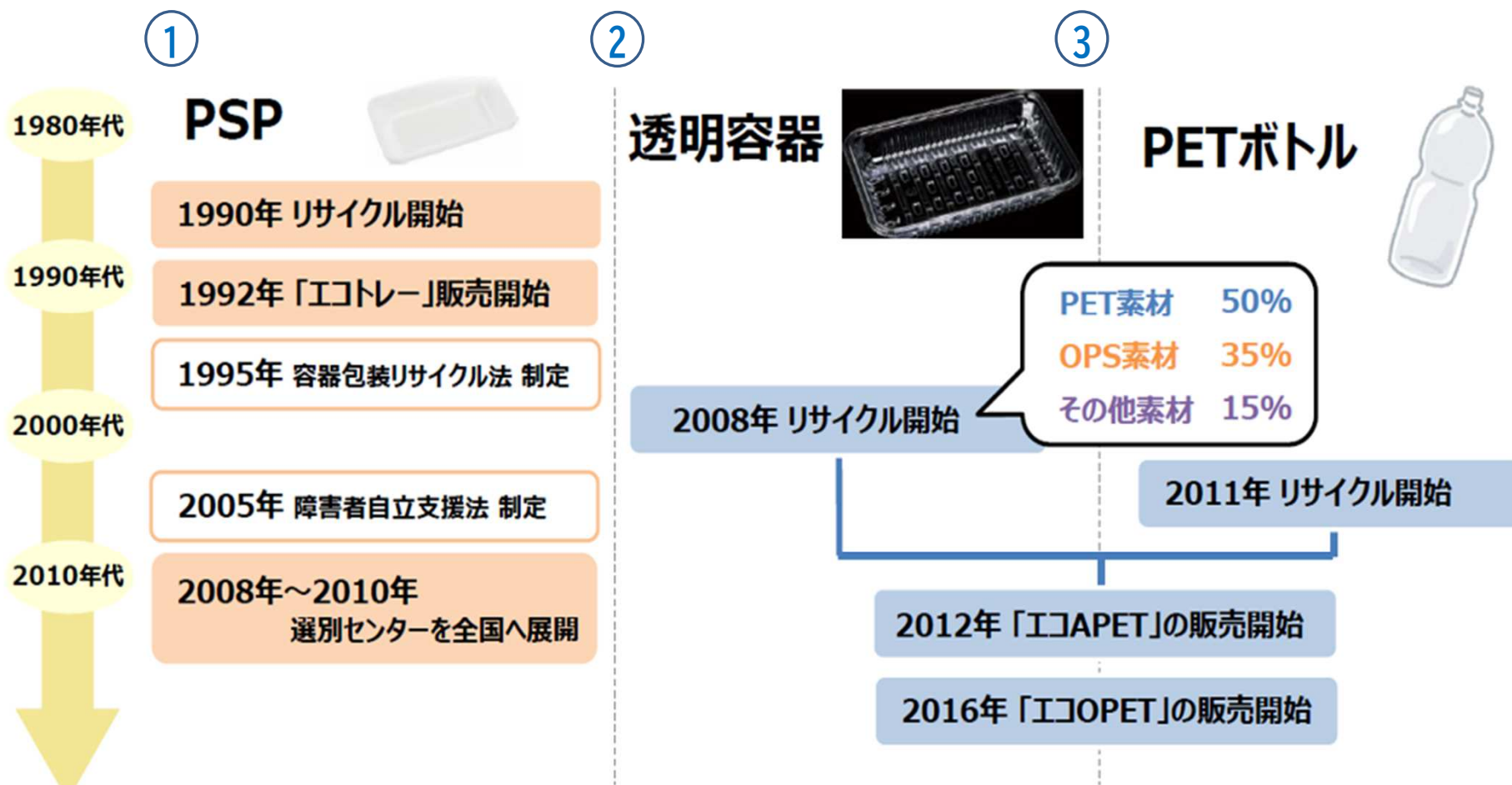
- 効率化
生産工場・物流センター・リサイクル工場を
一か所に集めて配置



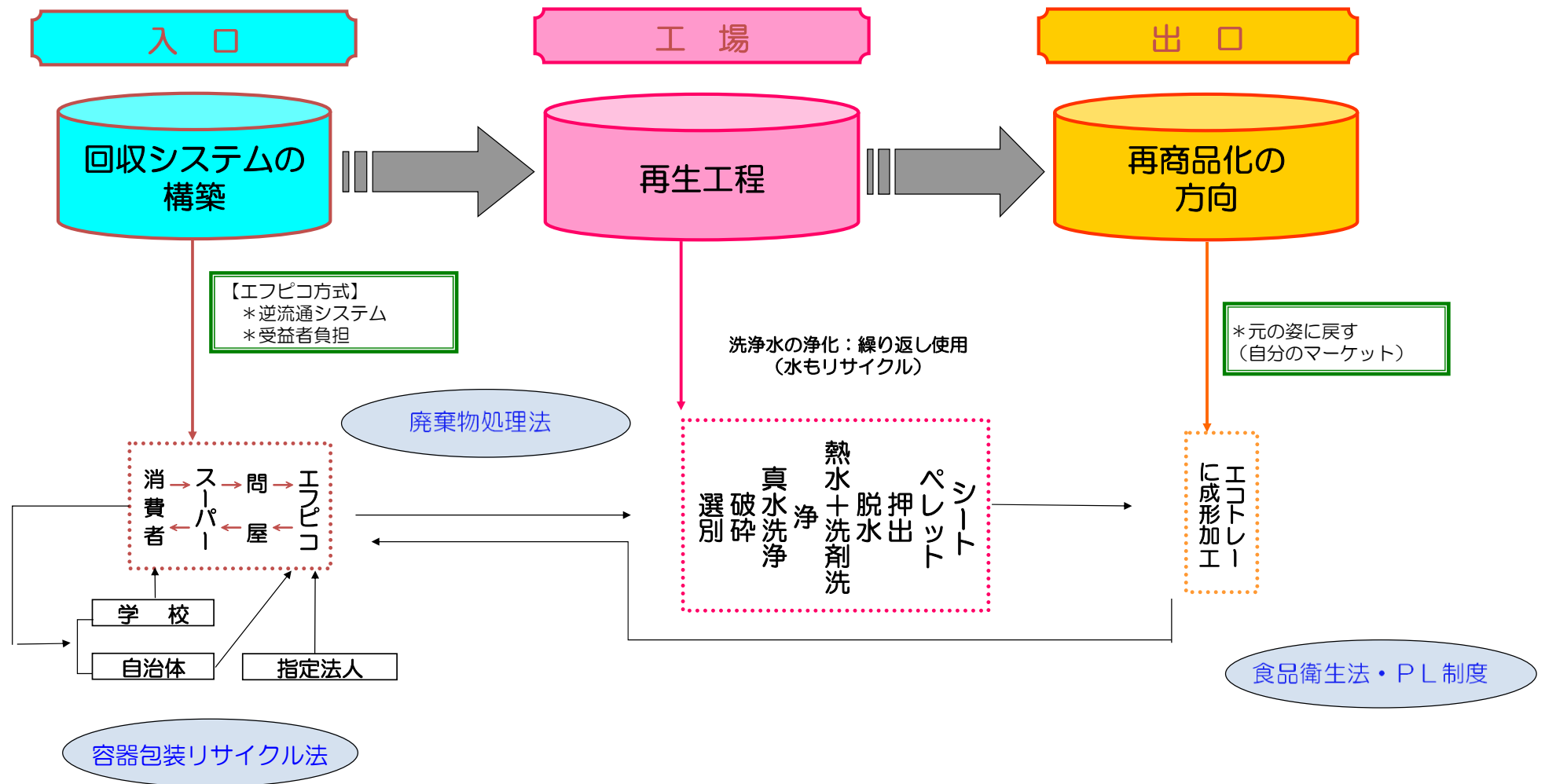
■エフピコのバリューチェーン



■ 『トレー回収』 を始めたきっかけ!! と 3つのリサイクル!!



■ 『エフピコモデル』 のポイント



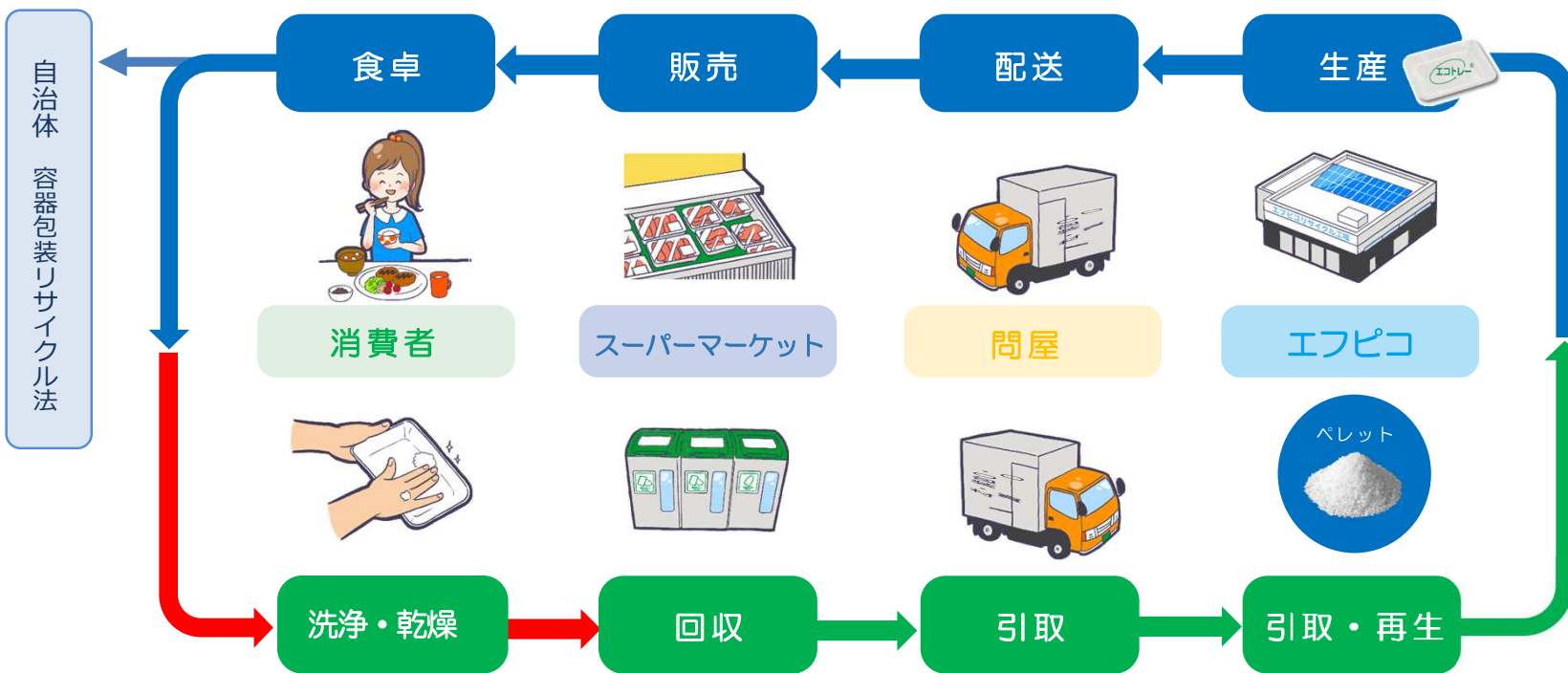
■ 『エフピコ方式リサイクル』のポイント『入口と出口』



お店で使ったものを回収して、リサイクル、そしてまたお店で使う分かり易い『水平リサイクル』の仕組みで、この工程をすべて自社で行っています。

■エフピコ方式は 四者一体のリサイクル

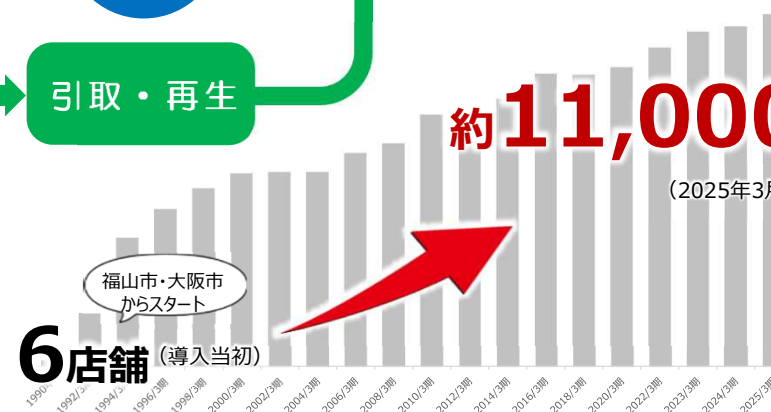
何回でも
リサイクル
できます!



回収拠点数

約 **11,000** 拠点

(2025年3月末時点)



■発泡スチロール製トレーのリサイクル

1 集める



2 手で分ける



3 風で分ける



4 よく洗い、すすいで脱水する



5 溶かしてカットする



■透明容器のリサイクル

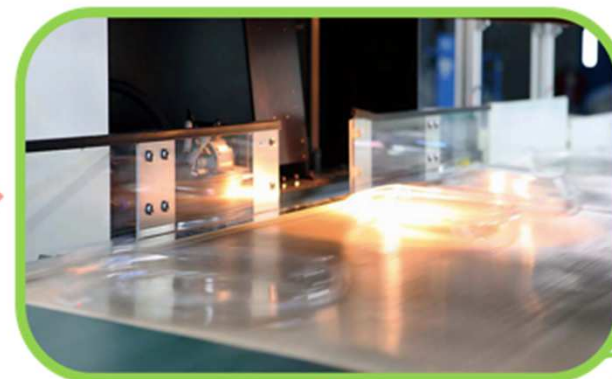
1 集める



2 人の手で整列



3 機械で分ける



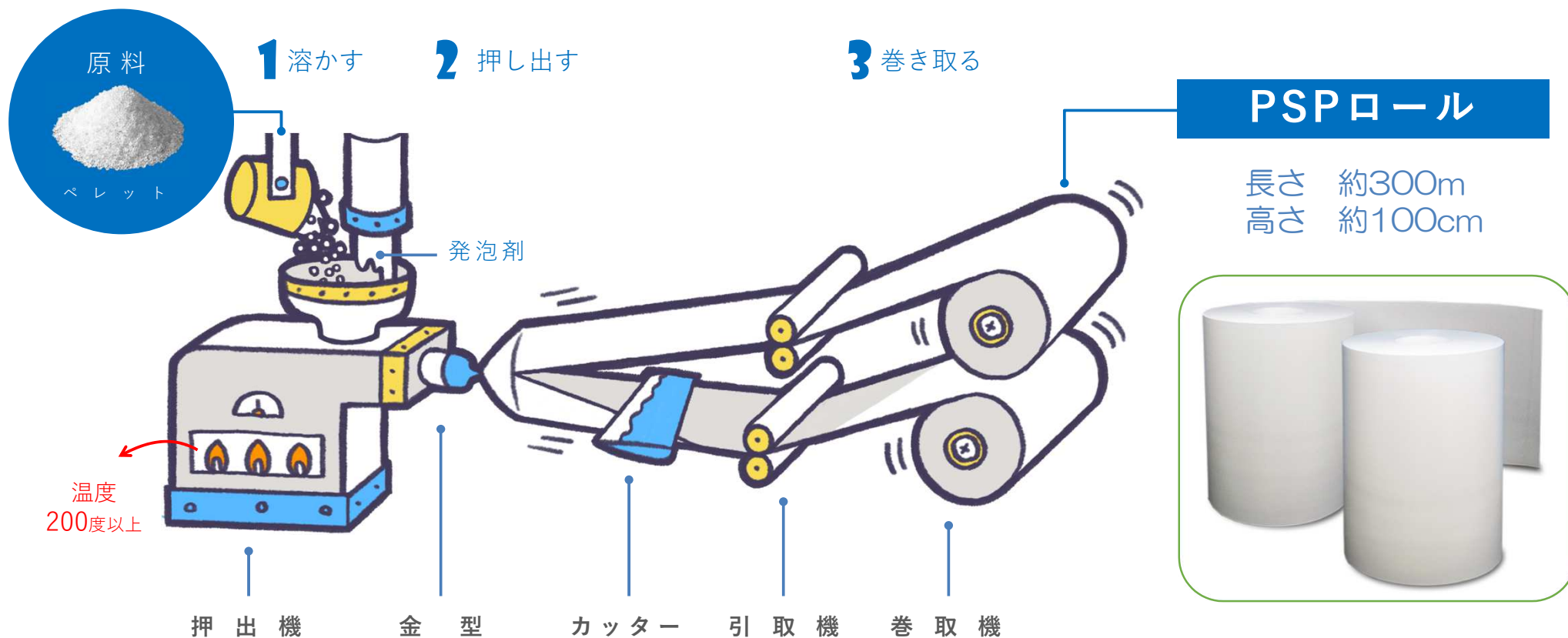
4 こなごなにして洗う



5 溶かしてカットする

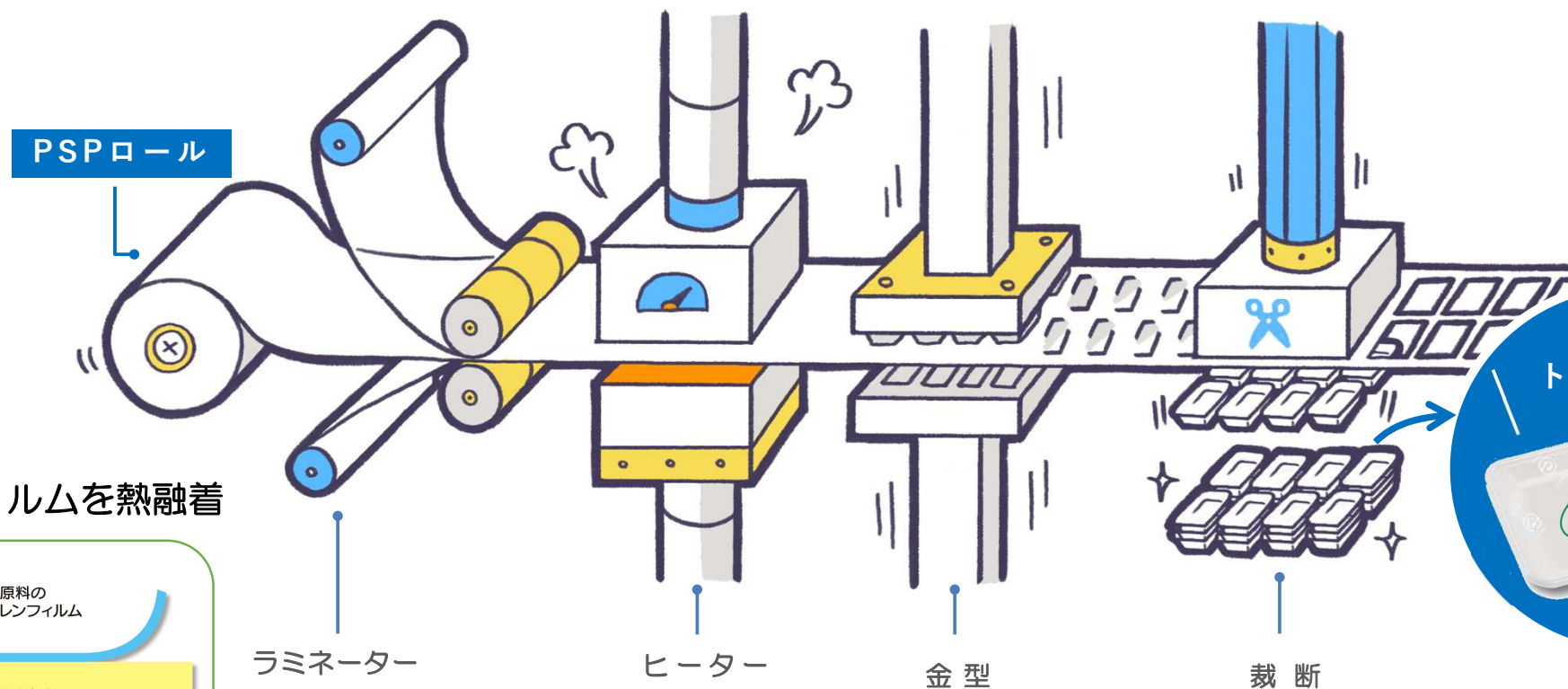


■ペレットからPSPロールを作る

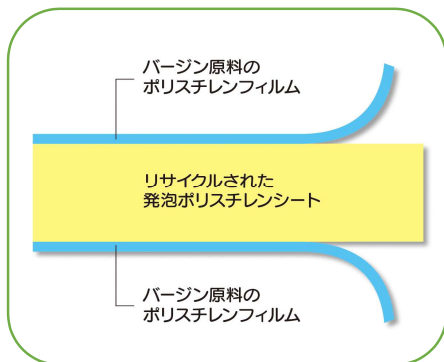


■PSPロールからトレーを作る

4 フィルムを張る 5 あたためる 6 金型が上下する 7 切り抜く



新品のフィルムを熱融着



■PETボトルのリサイクル



■ ペットボトルからエコペット（透明容器）への一貫生産

①シート押出



シート状にし、約3000m巻き上げる

②成形



成形・裁断を経てエコ透明容器の完成

再生材の取り扱い

- 米国食品医薬品局（FDA）より、No Objection Letter（NOL）取得
- 欧州食品医薬品局（EFSA）も同様

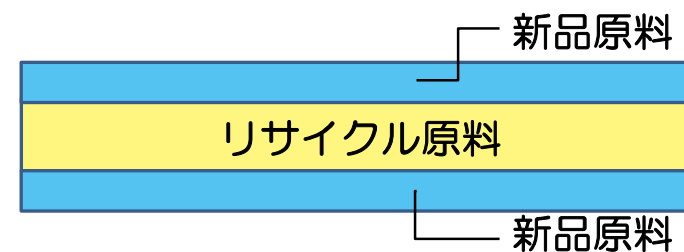
FDAおよびEFSAの安全性評価指標値

最大残留濃度 220ppb以下

最大溶出濃度 10ppb以下

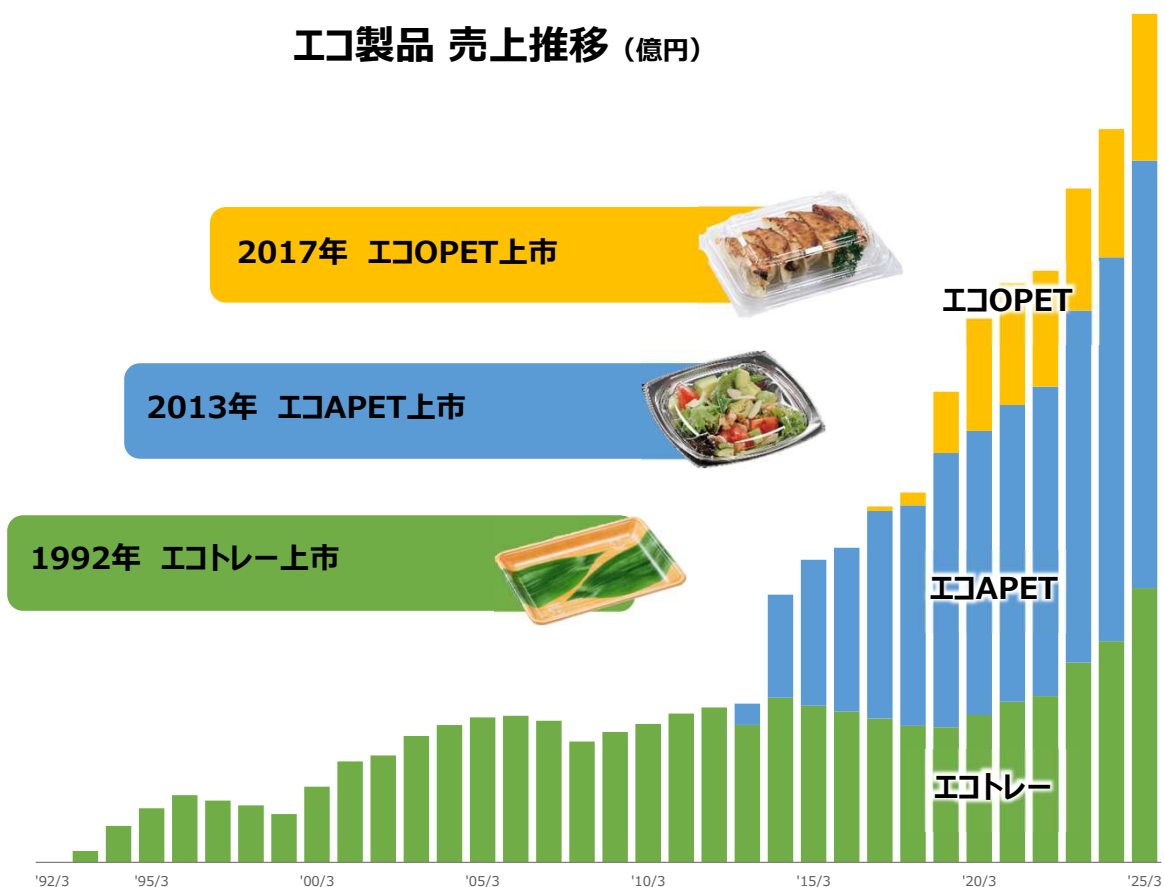
現状

食品との直接接触面にはバージン原料を使用



■エコ製品の販売実績

エコ製品 売上推移（億円）



2025年3月期

エコ製品売上

前年比 115%

913億円

製品全体のエコ化率

（枚数ベース）

前年比 103%

51%

PET製品エコ化率



100%

■プラスチック資源の回収

※枚数・本数は、標準的なグラム数にて換算

PSP：4g、透明容器：10g、

PETボトル：25g

		回収重量				
		' 21/3実績	' 22/3実績	' 23/3実績	' 24/3実績	' 25/3実績
<div>容器</div> <div>(PSP・透明容器)</div> 	スーパーマーケット店頭 指定法人ルート	10,000t (約21億枚)	10,300t (約22億枚)	10,400t (約22億枚)	10,500t (約22億枚)	11,000t (約23億枚)
<div>PETボトル</div> 	指定法人ルート スーパーマーケット店頭 事業系ルート	75,000t (約30億本)	73,000t (約29億本) *一部プラント修繕	81,000t (約32億本)	80,000t (約32億本)	79,000t (約32億本)
回収重量合計		85,000t	83,300t	91,400t	90,500t	90,000t
製品販売重量に対する 使用済み製品の回収重量比率		42%	40%	44%	44%	42%

■気候変動対応 エコ製品によるCO2排出量削減

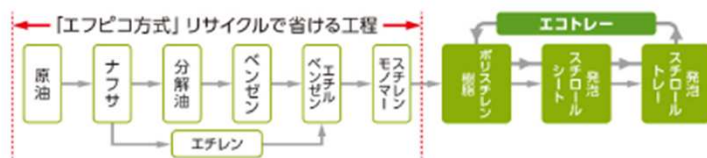
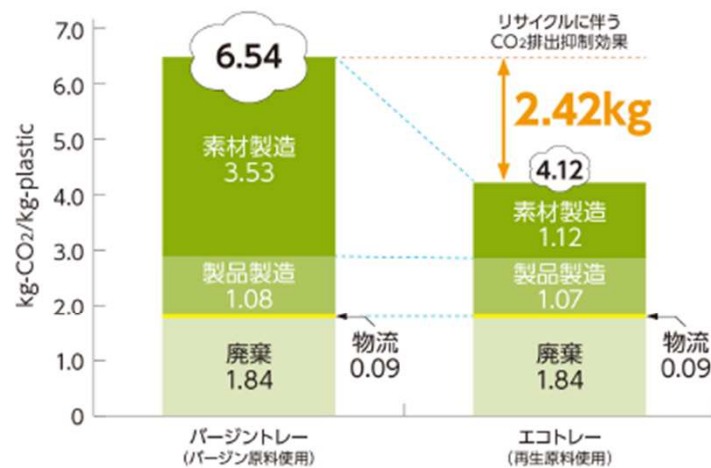


CO₂排出量
-37%

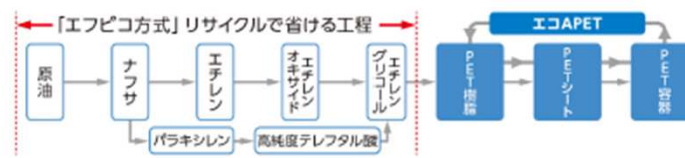
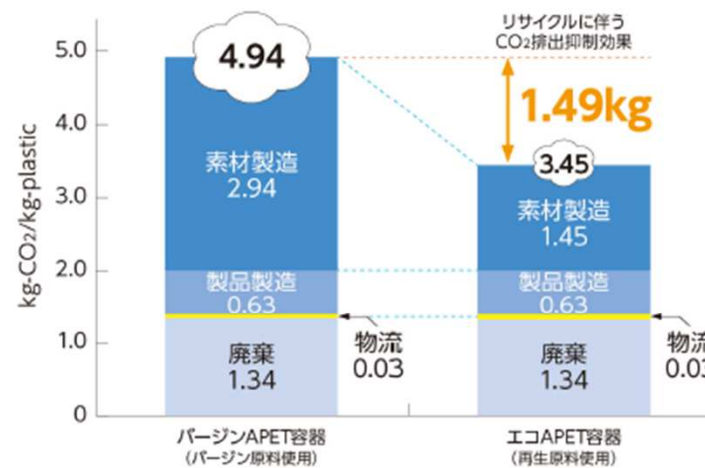


CO₂排出量
-30%

バージントレーとエコトレのCO₂排出量の比較



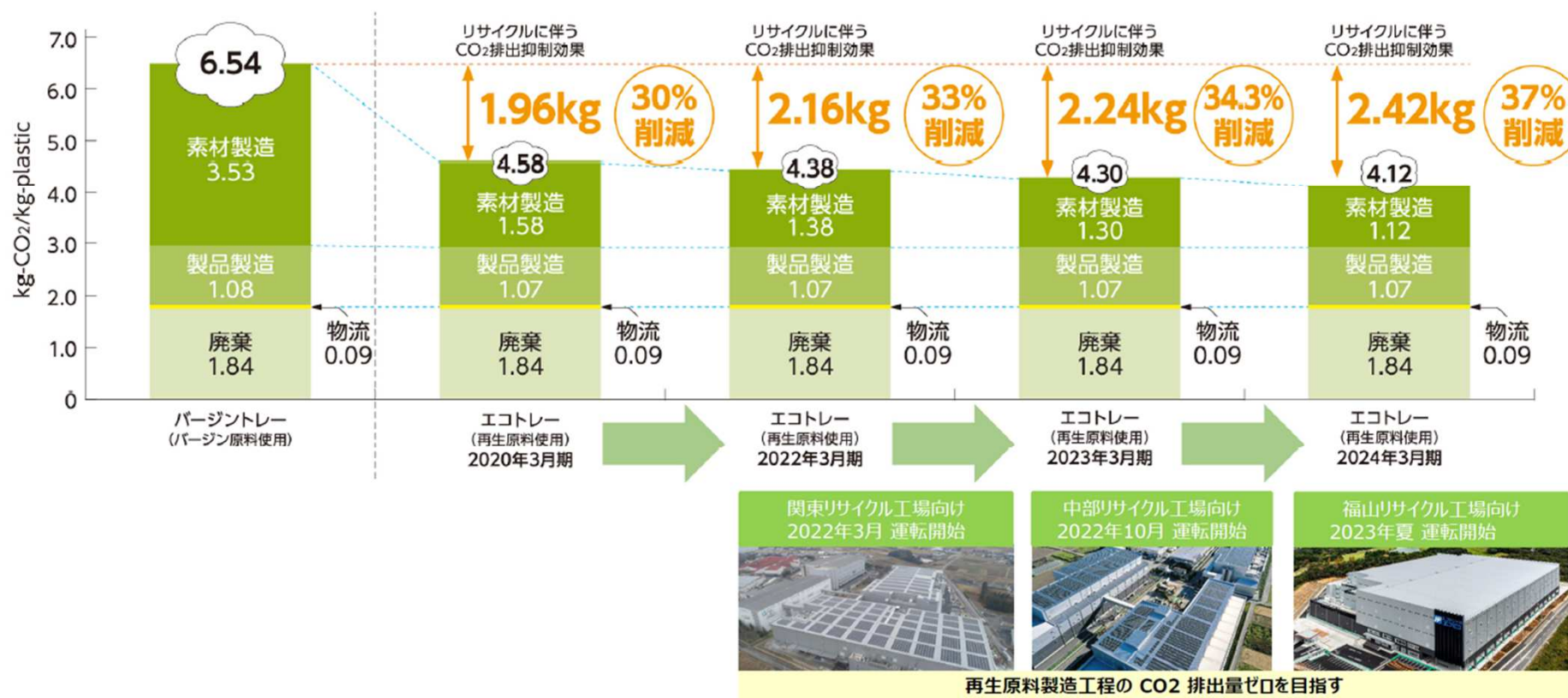
バージンAPET容器とエコAPET容器のCO₂排出量の比較



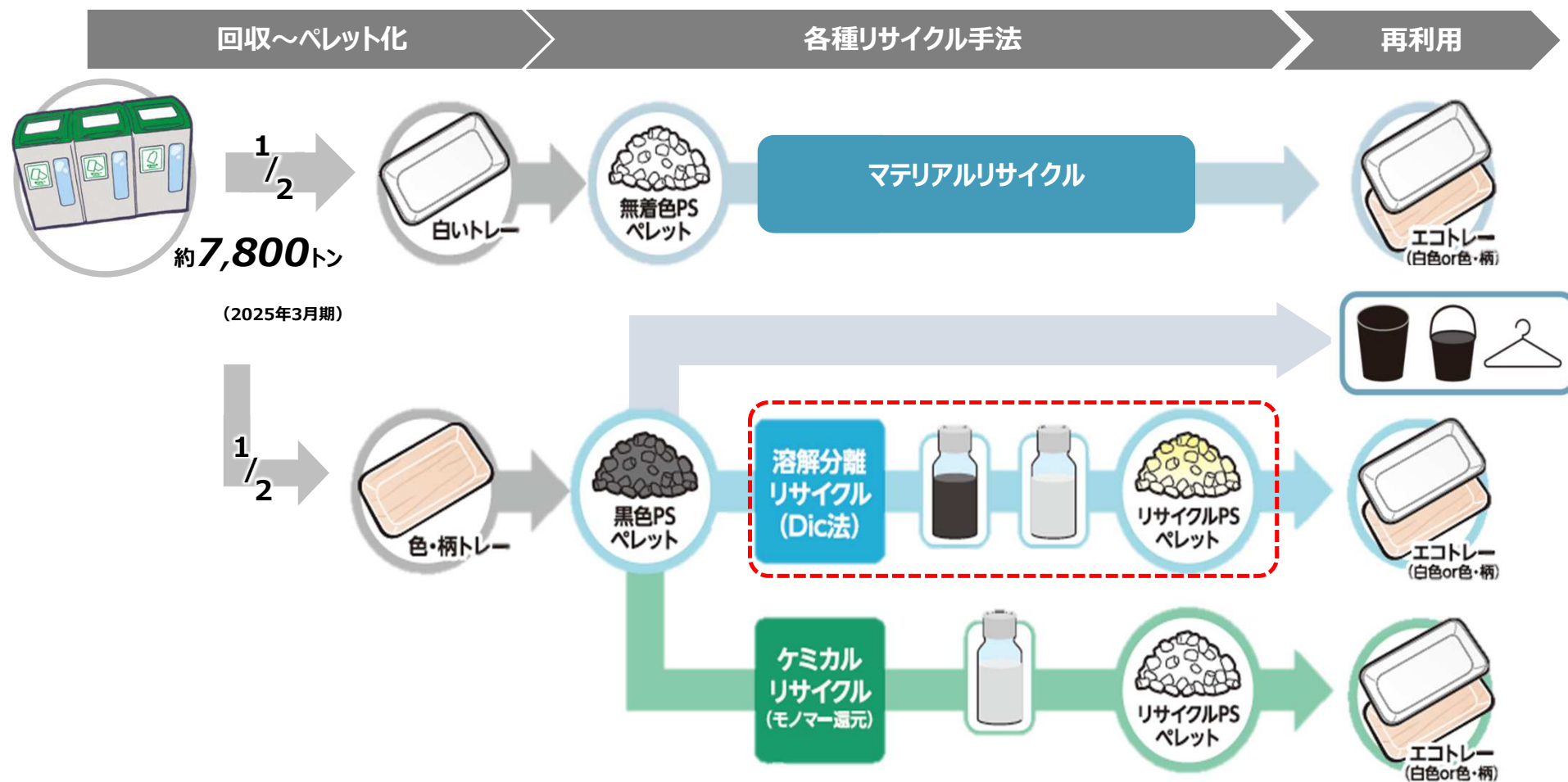
■ リサイクルの進化にチャレンジ

太陽光発電

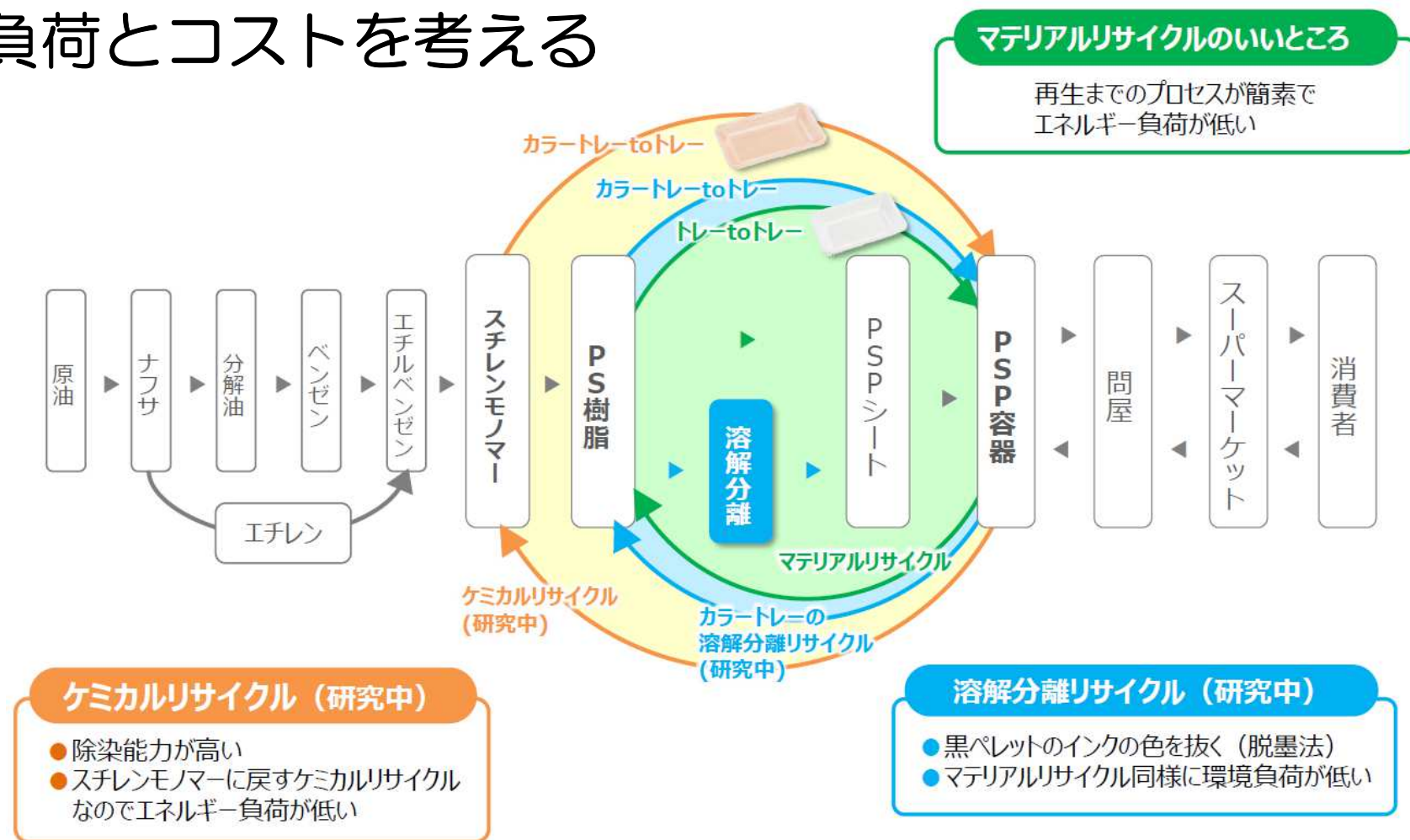
バージントレーとエコトレーのCO₂排出量の比較



■食品トレー完全循環型リサイクルに向けた協業

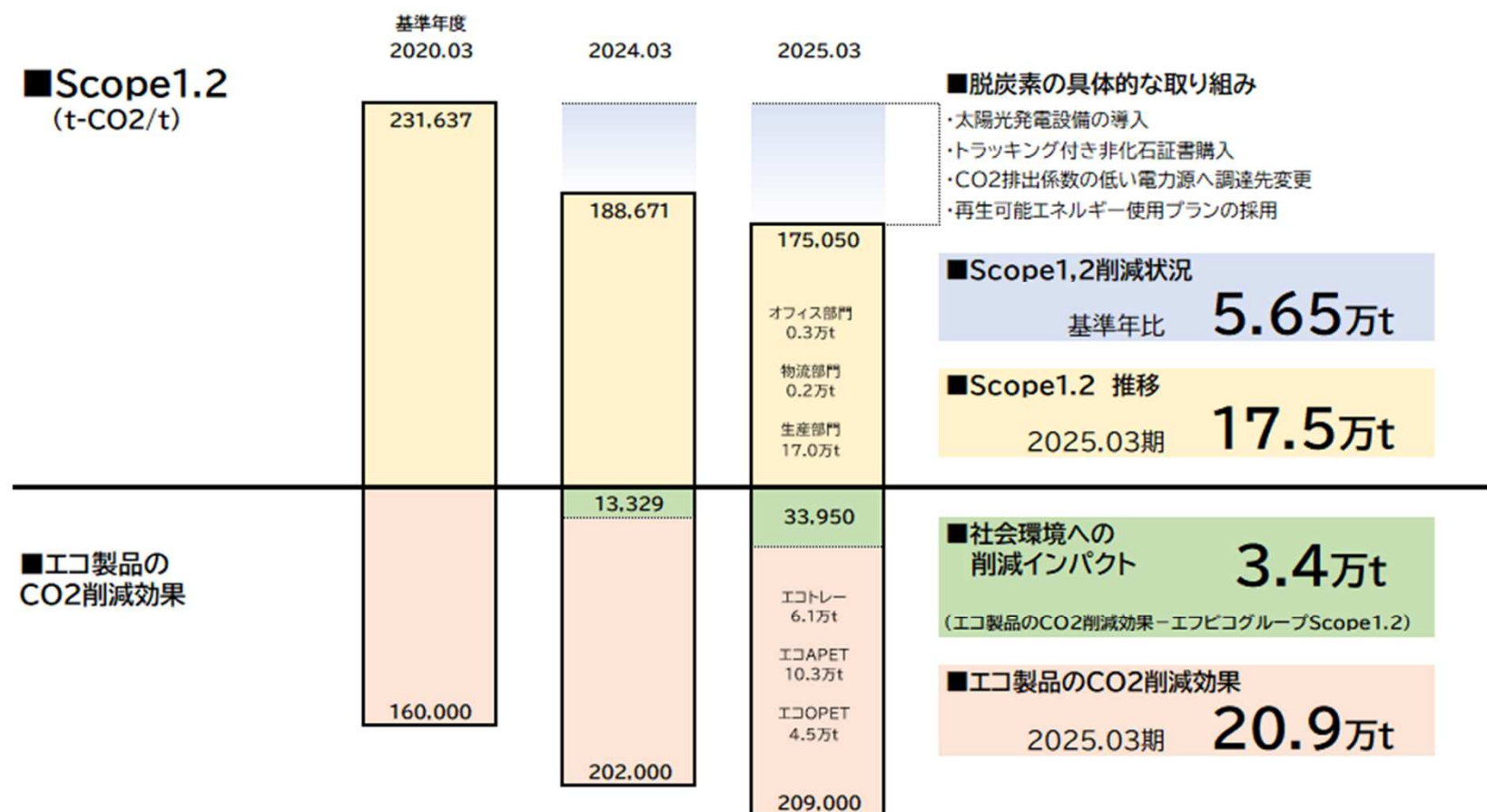


■ポリスチレンの完全循環に向けて 環境負荷とコストを考える




■エフピコグループ環境課題への取り組み

当社グループのサプライチェーン全体における自社CO2排出量(Scope1.2)と、エコ製品の販売によるCO2削減効果(Scope4)の関係図



当社では、社会価値と経済価値のさらなる拡大を目指し、エコ製品が社会や環境に与える影響を示すインパクト指標として、CO2削減貢献量を計測しております。2024年3月期には、エコ製品の販売によるサプライチェーン上のCO2削減効果が自社の活動におけるCO2排出量(Scope1.2)を上回りました。今後も脱炭素社会の実現に向け取り組んでいきます。



 私はあまり知られていませんが、
名前は、底にあります。

食品トレイ・容器のエフピコ。



■素材の多様化① プラスチック使用量削減

祝賀桶 (上市済み)



16サイズ展開

氷河桶 (10月末上市予定)



12サイズ展開

新技術

低発泡
PSPシート × 成形技術

特許出願済み

HIPS (非発泡) に比べて

約**60%**軽量化

新低発泡PSP

HIPS



順次、シリーズ展開へ

■素材の多様化② バイオマスプラスチック製品

バイオHIPS

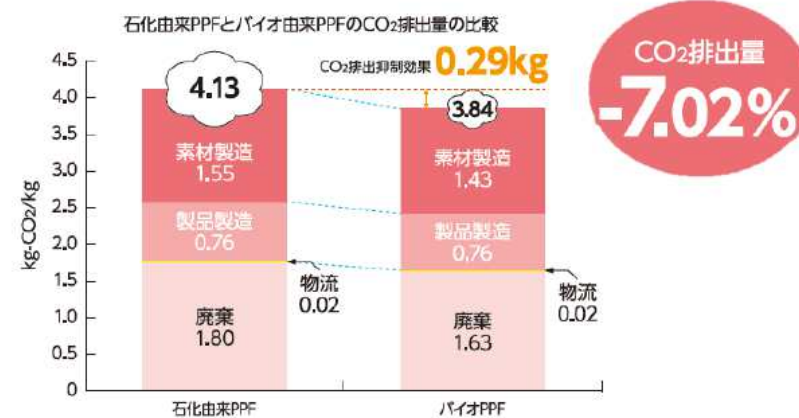
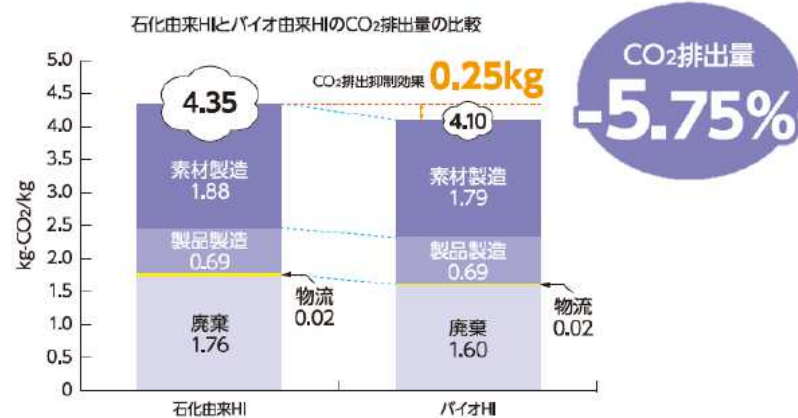


バイオPPF



☑ バイオHIPS・バイオPPF 2020年6月上市

☑ 植物由来原料 25%使用 / 日本バイオプラスチック協会 認定登録



■ バイオ度25% HIPS CO2削減効果（石化由来HI比較）

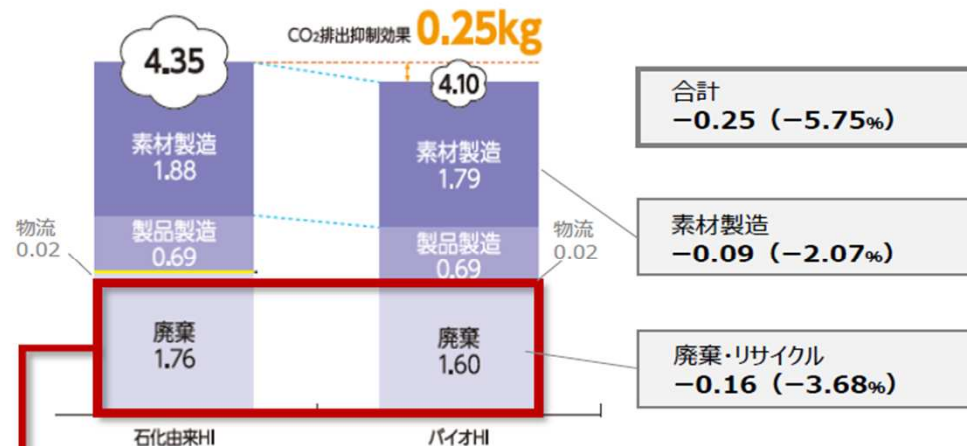
バイオ
HIPS



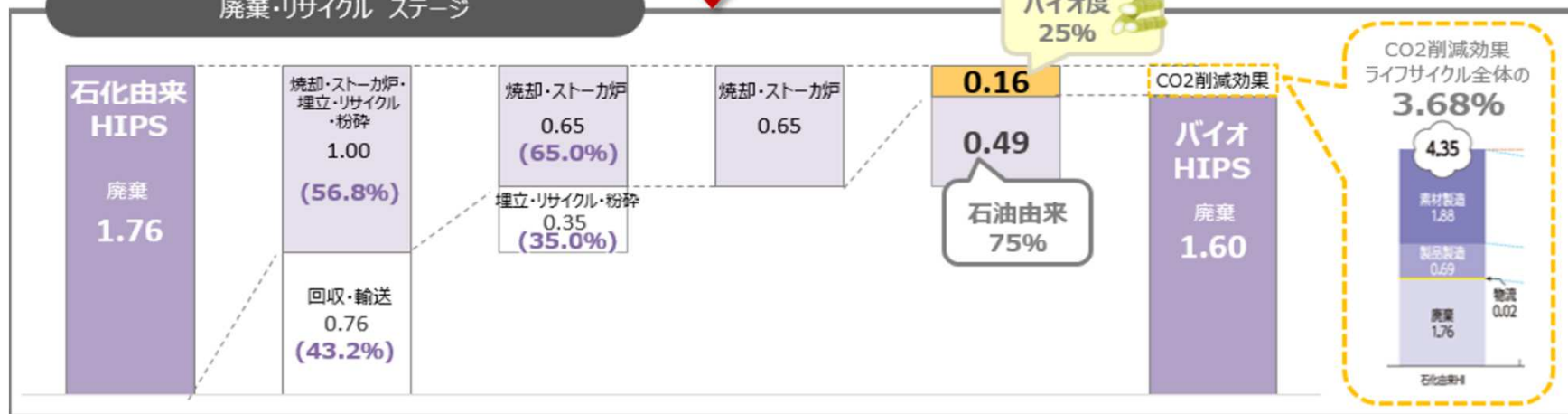
CO₂排出量

-5.75%

環境ラベルタイプⅢ（エコリフ） 製品分類別基準 プラスチックシート成型品【食品用途】に基づき算出
石化由来HIとバイオ由来HIのCO₂排出量の比較



廃棄・リサイクル ステージ



■エコ製品の消費者への訴求

エコ製品に「エコマーク」



「ペットボトルリサイクル品」を刻印

